

※ 海外ニュース ※

スペイン 2025年6月3日 elEconomista

■ スペイン政府、高速道路の夏季料金の大幅引き上げを導入し、ルート当たり18ユーロの「2重引き上げ」を実施予定

El Gobierno impone un tarifazo de verano en el peaje de esta autopista española: "Un doble atraco" de 18 euros por trayecto

今回の高速道路の通行料金引き上げにより、繁忙期には11.60ユーロから18.65ユーロに引き上げられる。スペイン政府は、コスタ・デル・ソル地域の有料道路において、夏季料金の大幅引き上げを実施した。6月1日に実施された今回の通行料金引き上げは、カラオンダとグアディアロ間のルート通過料を18.85ユーロに設定し、結果として昨年比で3.89%の引き上げとなった。これにより、この高速道路はスペイン国内で最も通行料の高い道路の1つとなっている。

スペイン 2025年6月4日 Ministerio

■ スペイン運輸交通局、高速道路N-611のバルセロナ・デ・ピエ・デ・コンチャのトンネルで、火災発生時に対応する訓練を実施

Transportes realiza un simulacro de accidente con incendio en el túnel de Bárcena de Pie de Concha de la N-611

高速道路N-611とバルセロナ・デ・ピエ・デ・コンチャのトンネルは、2025年6月5日（木）午前9時から午後2時まで閉鎖され、火災発生時に応急時の訓練が実施される予定である。高速道路N-611の150.320km地点と156.320km地点の間で、交通への影響が出ると予想されている。該当区間の代替ルートとして、ペスケーラとサンタ・クルス・デ・イグニヤの各ジャンクションの間を通る高速道路A-67が利用されることになる。

英国 2025年6月5日 Highways News

■ スペイン運輸交通局、8,560万ユーロを投入し、エル・ブルゴ・デ・エブロとフエンテス・デ・エブロ間の新しい高速道路A-68の工事を進める予定

Transportes avanza en las obras de la nueva autovía A-68 entre El Burgo de Ebro y Fuentes de Ebro, con una inversión de 85,6 millones de euros

工事の具体的な内容としては、フエンテス・デ・エブロ・エステのジャンクションを将来建設予定の高速道路A-68につなげる調整工事が予定されている。このため、2025年7月31日まではアルカニスからの入口で、フエンテス・デ・エブロ方面の道路が閉鎖される。2025年12月20日までは、フエンテス・デ・エブロ・エステのジャンクション（高速道路N-232の209km地点）で、サラゴサ方面の出口が閉鎖される。この工事には、付加価値税（IVA）を含む8,560万ユーロが投入される。

チェコ 2025年6月5日 ITS International

■ 道路・高速道路総局と連携したチェコの道路用ユーネックス協調型高度道路交通システム

Yunex C-ITS for Czech highways with ŘSD ČR

ユーネックス・トラフィック社は、協調型高度道路交通システムプロジェクトの一環としてチェコ共和国の選定された高速道路区間で101基の路側器を設置した。このプロジェクトは欧州コネクティング・ヨーロッパ・ファシリティにより資金提供されており、ユーネックス社は、チェコの道路・高速道路総局に完全なソリューションを提供しているシステムインテグレーター、スペル社の提携企業として参加している。衝突、悪天候、緊急車両に関する警報が車両のインフォテインメントシステムにリアルタイムで表示され、運転者に注意を促す。

ドイツ 2025年6月6日 Autobahn GmbH

■ バイエルン州の高速道路で電気自動車の非接触充電の実験を開始

Erste Teststrecke für induktives Laden von Elektrofahrzeugen an einer Autobahn in Bayern gestartet

電気自動車の高速道路での非接触充電の導入を目指す実験プロジェクト E|MPower が、バイエルン州 A6 号線のテスト区間で始まった。このプロジェクトはフリードリヒ・アレクサンダー大学とアウトバーン社が率いるコンソーシアムが取り組んでいるものである。コイルシステムを路面内に埋設し、走行中の非接触充電を可能にすることを目指しており、今回の試験ではコイルシステムの自動生産と路面内への設置を実地テストする。非接触充電にかかる期待は大きい。電気自動車は1回の充電での航続距離が限られることがネックの1つとされるが、「追い越し車線走行中の充電」が実現すればこの問題は解決され、ガソリン車からの乗り換えを促進すると考えられている。

スペイン 2025年6月6日 elEconomista

■ スペインのフェロビアル社、カナダ高速道路運営について、他の株主から 12 億 8,000 万ユーロに相当する 5% の株式増額購入を行った

Ferrovial completa la compra de un 5% más de su autopista canadiense por 1.280 millones de euros

フェロビアル社は、カナダの高速道路 407 号線の建設運営において、5.06% の追加株式購入を完了した。株式の購入は、別の株主であるアトキンスレアリス社（旧 SNC ラバリン）から 12 億 8,000 万ユーロで実施された。この一連の動きにより、同道路建設事業においてフェロビアル社が 48.29% 、CPP 社が 44.2% 、PSP インベストメント社が 7.51% の株主参加率となる。

イタリア 2025年6月9日 Il Sole 24 ore

■ 高速道路 A23 で大型トラックが逆走し、停止させられる：運転手は免許証取り消し、最大 8,000 ユーロの罰金、車両の拘留処分を受ける

Fermati due tir contromano sulla A23: per gli autisti ritiro della patente, sanzione fino a 8mila euro e fermo dei mezzi

2025 年 6 月 6 日、2 台の大型トラックはウディーネに向けて高速道路 A23 を走行中であった。しかし、現在調査中の何らかの理由で、タルヴィジオの出口インターチェンジで誤って逆方向に進入した。2 台の大型トラックはいずれも外国籍の車両であったと伝わっている。

フランス 2025年6月10日 Le Figaro

■ 高速道路：道路利用者を狙った通行料金徴収の新手の詐欺に注意

Autoroutes : attention à la nouvelle arnaque au péage qui vise les automobilistes

料金徴収所に設置されたバーを廃止し、オンラインで通行料金を支払う制度を採用したフリーフローの高速道路が登場してから、フランスでは新手の詐欺手法が散見される。技術革新は詐欺師たちの想像力を增幅させ、ヴィンチ高速道路の通行料金電子支払い制度が悪用されている。例えば 6.8 ユーロの電子処理が未払いであると主張するメッセージを送り、利用者は偽のリンク先に誘導され、偽の支払い手続きを行わせるといった手口である。

フランス 2025年6月10日 Le Figaro

■ 高速道路建設運営会社、フランス政府に通行料金の引き下げを提案

Ce concessionnaire autoroutier propose à l'État de baisser le prix… des péages

フランスの高速道路建設運営会社であるサネフ社は、高速道路 A1、A2、A4、A16、A26、および A29 を含む 1,807km の高速道路を管理している。これらの主要高速道路網関連の 90% が 2031 年から 2036 年の間に、管理契約が満期となる予定である。このタイミングを「2060 年を見据えた道路管理方式と道路網の財政管理方式を再検討する機会」と同社は捉えている。これは、同社が道路建設の国営事業に勢力を拡大するさらなる契機となる見通しである。この一連の動きの中で、通行料金引き下げの提案がある。

米国 2025年6月11日 Construction Dive

■ テキサス州の交通局はどのようにAIを活用するのか

How the Texas DOT uses AI

テキサス州の交通局はこれまでのところ予測交通データ分析や衝突検知といった作業の22の側面でAIを活用しており、インフラプロジェクトの優先順位決定に可能性を見出している。この米国最大の州運輸局はどのように人工知能を使用する予定なのだろうか？同局は12月に局内で人工知能を実装するための3ヵ年戦略計画を発表した際、230件の使用事例の可能性を特定していた。2025-2027年計画では、高度分析やインテリジェントシステムを同局の運営および運輸システムへ統合する指針が定められている。

米国 2025年6月11日 Construction BRIEFING

■ ウォルシュ社を3億3,900万ドルのワシントン橋プロジェクトに選任

German highways safer thanks to construction site warnings

Walsh selected for US\$339 million Washington Bridge project

米国ロード・アイランド州の知事は、シカゴに拠点を置くウォルシュ・コンストラクション社がワシントン橋を再建すると明らかにした。2028年の完成日を見据えたインセンティブを含む3億3,900万ドルの契約である。この新しい橋は設計寿命が100年で、全体の土地占有面積は小さくなる。同社の計画では、既存の基礎構造物の完全置き換えや川の中の支持橋脚削減が予定されている。既存の構造物の取り壊しは2025年末までの完了を目指し進行中で、水中の除去作業は7月1日以降に開始する。2024年8月、同州は橋の過去の設計、検査、建設に関連した13社に対し訴訟を起こしていた。

ドイツ 2025年6月11日 Die Autobahn

■ A8号線をプフォルツハイム／エンツ谷付近で6車線に拡張：バーデン・ヴュルテンベルク州最大規模のインフラ工事進捗状況と主要マイルストーン

Sechsstreifiger Ausbau der A8 bei Pforzheim / Enztalquerung: Baufortschritt und wichtige Meilensteine bei einem der größten Infrastrukturprojekte in Baden-Württemberg

アウトバーン社南西支部は目下、バーデン＝ヴュルテンベルク州最大規模のインフラプロジェクト「A8号線エンツ谷越え工事」を推進中である。高速道路A8号線のエンツ谷付近の約4.8km区間を通行止めせずに6車線に拡張するほか、8本の橋梁を新規建設、多数の防音設備を設置する。またトラック駐車スペース30台分を備えたPA「エンツ谷南」を新設する。2025年には防音設備の建て込みを行い、B10号線を跨ぐ橋、およびエンツ川を渡りシュツットガルト方面に通じる橋を完成させ、2026年初めには工事エリアで両方向とも新車線が開通する見込みである。現時点でプロジェクト全体の完了は2027年末を予定している。

英国 2025年6月18日 New Civil Engineer

■ ロウワー・テムズ・クロッシングの歩道橋設計コンペにより、低炭素インフラについての考え方が発展

Lower Thames Crossing footbridge design competition fostered new ways of thinking about low carbon infrastructure

ニュー・シビル・エンジニアの協力のもと、100億ポンドのロウワー・テムズ・クロッシング・プロジェクトによりA127号線上に建てられる低炭素歩道橋の先進的設計を模索するコンペが開催された。ロウワー・テムズ・クロッシングは、完成時に英国史上最長の道路トンネルとなる。この構想のグリーン認証が政府の承認を得る競争の中心となっている一方で、プロジェクトチームは可能な限り少ない炭素量で建てられる歩道橋の初期設計を模索する新たな取組みをニュー・シビル・エンジニアと協力し舞台裏で働いてきた。

米国 2025年6月20日 Roads&Bridges

■ インディアナ州がすべての州間幹線道路に通行料徴収を許可する最初の州へ

Indiana Becomes First State to Approve Tolling on All Interstates

マイク・ブラウン州知事による下院法案第1461号の署名後、インディアナ州はすべての州間幹線道路に通行料徴収を許可する国内初の州となった。この新たな法により、同州の交通局は連邦道路管理局に免除を求める権

限が与えられ、さらなる立法府の承認を必要とせず、州の境界内のあらゆる州間幹線道路に通行料を課すことができるようになる。州の代議士ジム・プレッセル氏や上院議員マイク・クライダー氏といった共和党議員を含む法案の支持者らによると、この対策により、伝統的に道路整備・建設に資金を提供してきた州のガソリン税の収入の減少に対処することができる。

米国 2025年6月23日 Equipment World

■ ワシントン橋の緊急閉鎖に関する訴訟で請負業者が反訴

Contractors File Counterclaim in Suit Over Emergency Closure of I-195 Washington Bridge

州間高速道路195号線ワシントン橋の急な閉鎖後、ロード・アイランド州に訴えられている請負業者2社が反訴を提起している。請負業者2社は、同州交通局が90年代初期に同橋により多くの検査が必要であることを知っていたにも関わらず、実施を怠ったと主張している。州司法長官は、2023年12月に重大な不具合が見つかった同橋の設計、建設、検査に関わった企業13社に対し8月に訴訟を起こしていた。この橋は1968年に開通しており、1日あたり96,000台の車両が走行していた。同交通局は最近、この橋を再建するためにウォルシュ・コンストラクション社へ4億2,700万ドルの契約を発注している。

フランス 2025年6月23日 ADAC

■ 高速道路の料金支払い：フリーフローシステム、詐欺も発生

Maut auf Autobahnen in Frankreich: Free-Flow mit Tücken

フランスでは高速道路通行料徴収を料金所式から、車両を自動スキャンするフリーフローというデジタルシステムに移行するプロジェクトを推進しており、今後数年間で全線での移行を完了する予定である。政府はA14号線とA13号線の両ルートだけでも料金所の待ち時間を年間170万時間、燃料消費を950万リットル、CO₂排出量を3万トン削減できると期待している。ドライバーは通行後72時間以内にクレジットカード等で自ら支払いをするシステムであるが、主要ルートでは、通行ドライバーにメール等で未払い料金を架空請求する詐欺が横行している。請求額自体は少額だが、リンクをクリックして銀行口座情報を入力すればデータを盗まれてしまうため注意が必要である。

フランス 2025年6月24日 Le Figaro

■ 高速道路通行料：フリーフロー導入から1年、高速道路A13とA14では94%の通行料金が支払い済み

Péages : un an après le passage en flux libre, 94% des paiements honorés sur l'A13 et l'A14

約12万人の利用者が自動車のナンバープレートを自分の銀行カードなどに紐づけて、自動料金収受システムを利用することなく、通行料金の支払いを行っている。パリとノルマンディーを結ぶ幹線道路で料金所のバーを廃止してから、多くのドライバーが料金支払いのために一時停車する必要がなくなった。ますます普及する自動料金収受システムによっても、通行料金の支払いはスムーズで迅速なものになった。フリーフローを導入したこの区間では94%の通行料金が支払い済みとなっている。

フランス 2025年6月26日 Le Figaro

■ 高速道路：複数の労働組合が夏の間のストライキを呼び掛け

Autoroutes : plusieurs organisations syndicales appellent à la grève tout l'été

フランス労働総同盟(CGT)は、6月15日から9月15日まで、ヴィンチ社が運営する全高速道路に対して従業員のストライキの予告を発表した。フランス民主労働総同盟(CFDT)の発表によると、高速道路A8を管理・運営するEscota社の従業員は、7月1日から7月31日まで就業を停止させる。今回のストライキの目的は、従業員の人員を削減することによって発生する業務上の弊害を指摘し、給与引き上げを含む労働条件を改善させることである。